

本庁舎建設基本構想・基本計画に関するパブリック・コメント結果

案件名	本庁舎建設基本構想・基本計画									
趣旨	新しい庁舎の建設をきっかけにして、まちを再生し、次の世代につなげていくためにも、基本構想の策定過程において市民のみなさんから広く意見をお聞きすることが目的です。									
意見提出者数	53人									
		20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	不明	合計
	男性	3	3		2	10	3	2	11	34
	女性	1	2	4		1	3	1	2	14
	不明				1		1		3	5
合計	4	5	4	3	11	7	3	16	53	
意見の内容	以下のとおり (掲載されていないご意見につきましては、本庁舎建設基本構想・基本計画に関する内容ではないので、省略させていただきます。)									
意見への回答	今回いただいたご意見については、ご意見を取りまとめ整理した上で第5回本庁舎建設市民検討委員会へ提示しました。									

No.	年齢性別	該当する箇所	ご意見の要旨 (原文)	越前市の回答
1	20男	3.本庁舎周辺の方向性イメージ	<p>本庁舎建設基本構想 市の中心部が特に空きビル・空家・空地が多い。今後も多くなってくると思ひ、都市運営の効率化、夢のある住居、生活に必要な施設を徒歩圏内に集めた、ヒトの多く集まる、夢のある小さなシティにすることを望む。(駅より総社までいったいの土地の3割??の無償提供し、いったいの空きビル空家のすべて撤去にした都市計画をする。) 急げ、急げ。</p>	<p>本庁舎建設を契機に、都市機能の充実を促しコンパクトシティの形成へとつなげていくことで持続可能な定住都市の形成を目指します。この取組みと成果がまち全体に広がり、住みやすい、賑わいのある豊かなまちを目指します。(p28-31)</p>
2	70男	3.本庁舎周辺の方向性イメージ	<p>市中央公園の、大きな木が昨年切り倒されました。長い間通るたびに目を楽しませ、とても残念です。木が大きくなるのに年月がかかります。管理費がかかりますが危険な木のみ切り、残してほしかったです。 市庁舎にも、多く木が植えてあり心?の和む緑美しい雰囲気の中にあれば、人が集まってきやすい市庁舎となるでしょう。学校、公園等の木々はあまり切らないで下さい。 寺神社にては大木の伐採が多く悲しい限りです、他県からの観光客の方が「どうして越前市のお寺さんは木がなく坊主のお寺なんですか?」と質問されました。中国では1人1年間に3本の木を植えなければならないとガイドさんから聞きました。大木を切ることはやめて下さい。</p>	<p>本庁舎建設にあたっては、駅前広場から「歴史と賑わいのシンボルロード(表参道)」を軸とした、緑豊かな空間と連続した快適な歩行空間の整備に取り組みむとともに、まちなかの賑わいにつなげる緑豊かな歩行空間や回遊路などの空間形成に取り組みむ、として表現しました。(p24.25、p28~31) 学校、公園等の木々に関するご要望については所管課へ連絡します。</p>
3	80女	3.本庁舎周辺の方向性イメージ	<p>市の本庁舎建設にただの箱物のビルではなく夢のある街づくり城下町武生に相応しい屋内は洋風でも外装(外壁)は城(城壁)をイメージした外観にする。町全体を県内外から見物に来るような庁舎とまちづくり。これから改築、改装する住宅、商店、会社等に協力を得て外装を城下町らしいものをお願いをする。年月はかかるけれど、将来に目線をおき企画する。蔵の辻とも連結し町全体に広</p>	<p>本庁舎建設の基本理念「まちの活性化とまち空間再生の大きな契機とする」の具現化に向けて、①まちの顔づくり、②賑わいづくり、③歴史的街並みの形成、④まちなか居住、の4つについて取組みます(p24~27)。 また、本庁舎のイメージコンセプト「人をつなぎ歴史をつむぐ賑わい・交流</p>

			<p>げてゆく。人を呼び込む、人を集めるには観光しかない。</p> <p>節約し金を蓄え観光には惜しみなく使う。観光客を呼び込む視聴者作りからはじめ、町全体に拡大していく。天守閣は町を展望できる一巡できる造りにするなど工夫をする。休憩所(カフェ)などもいい。</p> <p>本庁舎建設の記念樹もよい。伐採ばかりはしてほしくない。未来を見据え市民が集い見物するような樹木、開花期には祭りとなるような樹木。そんな市には金がないなら集めればよい。越前市出身者、日本、すべてに寄付を呼びかける。市のまちづくりの構想を発表して寄付をお願いする。官民一体となって実現を目指さなければならない。</p>	<p>の場」の実現に向けて、本庁舎周辺の東西南北それぞれのポイントで現状・課題を整理し方向性をまとめ、中心市街地活性化基本計画、都市計画マスタープラン、立地適正化計画への反映を図りながら、短期から長期に至る時間軸の中で継続的に取り組みます(p32～35)。</p>
4	80 男	3.本庁舎周辺の方向性イメージ	<p>市庁舎の建設、これは市の顔でもあると考えます。東小学校を移転し今の庁舎が建てられました。そして60余年が過ぎました、東小学校の前は藤垣神社がそして府中城が、今これらが現存すれば先人たちが残してくれた貴重な遺産とも…。</p> <p>さて、丹南地方でも屈指の本庁舎が、この好機は半世紀にあるかないかでしょう。相当先を読んだものとするべきです。そして、話はすこし逸れますが、敦賀市庁舎30年以上も前に郊外に、いま福井市庁舎の立替が、これは移築が必至でしょう。</p> <p>今は、ゆとりある空間を多くの市民が望んでいるのではないのでしょうか、立派な本庁舎とその空間がマッチした建物としてほしいです。</p> <p>そして、もうひとつは武生の駅に降り立ったときに、まず目に入るのは古い町並みと「本庁舎」となるような建物となるといいと思います。</p> <p>現敷地には樹木が数本ありますが、できることなら全部残して欲しいですね。</p> <p>また、府中藩主本多富正公が築造した表川用水を、復元できないかこれは中長期的なものですが、そして、その清流にはヒゴイが泳ぐ充分な落差もあり庁舎敷地にも誘引しては。水に恵まれた越前市 水を生かしたまちづくりを。</p>	<p>本庁舎建設の基本理念「まちの活性化とまち空間再生の大きな契機とする」の具現化に向けて、①まちの顔づくり、②賑わいづくり、③歴史的街並みの形成、④まちなか居住、の4つについて取り組みます(p24～27)。</p> <p>また、本庁舎のイメージコンセプト「人をつなぎ歴史をつむぐ賑わい・交流の場」の実現に向けて、本庁舎周辺の東西南北それぞれのエリアで現状・課題を整理し方向性をまとめ、中心市街地活性化基本計画、都市計画マスタープラン、立地適正化計画への反映を図りながら、短期から長期に至る時間軸の中で継続的に取り組みます(p32～35)。</p>
5		3.本庁舎周辺の方向性イメージ ／ 5 本庁舎が備えるべき機能 ／ その他	<p>本庁舎は行政の中核であると同時に市民が利用しやすい工夫が必要である。4つの特色ある地域づくりゾーンは理解できるが、やはり本庁舎は越前市全域のまちづくりの中心として考える必要がある。</p> <p>本庁舎周辺の方向性として4つのゾーンが示されているが、そこに居住する市民の意見も取り入れるとよい。</p> <p>まちの顔づくりゾーンでは武生駅から総社までの道路、空間の使い方が重要だと考える。市民からのアイデア等を取り入れる工夫が必要である。</p> <p>本庁舎の整備方針で最も大切なことは効率的・機能的な庁舎であり、次にリスク管理機能を備えた庁舎であることが重要であると考えられる。基本的な庁舎としての機能がまず大切であり、この二つは当然な必要条件となり、その次に「まちの顔となる庁舎」「市民に愛され、多様な市民の参画・協働の場となる庁舎」「すべての人と地球環境にやさしい庁舎」という整備方針を掲げることが必要である。</p> <p>本庁舎建設は壮大なプロジェクトであり、建設当初から問題視されていた地区施設である武生東公民館は他の場所に移築の方がよいと考える。庁舎敷地をできるだけ広くするため、駐車台数</p>	<p>本庁舎建設の基本理念「まちの活性化とまち空間再生の大きな契機とする」の具現化に向けて、①まちの顔づくり、②賑わいづくり、③歴史的街並みの形成、④まちなか居住、の4つについて取り組みます(p24～27)。また、本庁舎のイメージコンセプト「人をつなぎ歴史をつむぐ賑わい・交流の場」の実現に向けて、本庁舎周辺の東西南北それぞれのポイントで現状・課題を整理し方向性をまとめ、中心市街地活性化基本計画、都市計画マスタープラン、立地適正化計画への反映を図りながら、短期から長期に至る時間軸の中で継続的に取り組みます(p32～35)。</p> <p>本庁舎の効率的機能や市民の憩いの場や市民利用機能としての多目的ホールなどについては、「本庁舎の機能と規模 (p38～43)」にまとめさせていただきました。</p>

			<p>の増加や屋外の憩いの広場を造ることも考えられる。</p> <p>屋外の憩いの広場は市民の集合場所、待合場所にもなるようにしてほしい。そのために土・日曜日にも開放できる日除け、雨除けを備えた空間が望まれる。</p> <p>生涯学習センター・市民ホールが無くなることを考慮し、庁内のホールは多目的を持った市民サイドの使い易さを考慮したホールが望まれる。</p>	
6	男	<p>3.本庁舎周辺の方向性イメージ ／ 5.本庁舎が備えるべき機能</p>	<p>・十分な駐車スペースの確保</p> <p>・新エネルギー都市構想 化石燃料、原子力から、代替自然エネルギーへと移行し、燃料電池との併用でエネルギーをまかなう市コミュニティを形成する。新市庁舎がその核となる。(燃料電池については2/21(土)NHK週間ニュース深コミ参照)</p> <p>・北陸新幹線 越前市開通後のビジョン策定 開通後は、現武生駅はローカル普通列車が走るだけになり特急は消える。イメージとしては、現在の福武線のようなものになる。その時代に市街地はどのような役割を担うのか。考えた上で建設してほしい。</p>	<p>駐車場は、現在の駐車台数125台を目安に確保します(p54)。また広場は、臨時的な駐車場として活用します(p36)。</p> <p>また、自然エネルギー活用施設を備えるべき機能として想定しています(p43)</p> <p>市街地の役割については、「本庁舎周辺のまちづくりの方向性と具体的方策、将来を見据えたまちづくりを行うため、過去からのまちの成り立ち(p22～31)」、などの表現としています。</p>
7	60男	<p>3.本庁舎周辺の方向性イメージ ／ 5.本庁舎が備えるべき機能</p>	<p>市民が、市役所に年に訪れる必要が何回あるのか、私は1回程度です。今後、新幹線が開通すれば、必然的に南越駅(仮称)付近が中心市街地となると思っています。市役所をその付近に移転するのがベストだと思います。市役所が狭い現在地に立て替えても、付近の店舗等が、それにマッチしたものになって行くのか疑問です。市民が、行政としての最大の義務(住民の生命、財産を守る)を職員等の言動から感じられる事が、場所、建物よりも今現在必要に思われる。それに反することは、駐車場が4階建てになると聞いているが、訪れる人に安全・安心と言えるのか疑問を感じる。高齢者には優しいアクセスを考慮して貰いたい。一部の人間の利権のための行政で有ってはいけないと思っている。</p>	<p>本庁舎の建設場所については、平成26年3月議会における新市建設計画の変更案の議決を受けて、現在地での建設が決定されました。</p> <p>第2第3庁舎跡地に建設する立体駐車場は、公用車を置く駐車場として利用します。安全安心に来庁いただけるために庁舎西側の道路拡張の方針を示しました。(p32-33)</p> <p>基本構想・基本計画の中では、「老若男女が歩いて楽しいまち空間を創る(p25)」や「老若男女が生き生きと暮らせるまちを創る(p27)」といった、すべての人にやさしい空間を表しました。</p>
8	30女	<p>3.本庁舎周辺の方向性イメージ ／ その他</p>	<p>駅・市庁舎・蔵の辻周辺のまちづくりを一体的に考え、市民が周遊しやすい場所となるよう工夫していただきたいと思います。例えば「NPOえちぜん」の事務所を庁舎内に配置することや「市民協働による施設運営の仕組み」の本格導入を(長岡市を参考に)真剣に検討してはいかがでしょうか。</p>	<p>本庁舎の基本理念である「まちの活性化とまち空間再生の大きな契機とする」ために具現化に向けた取り組みとして、庁舎周辺のまちづくりの方向性と具体的方策を示しました。(P24-31)</p> <p>市民協働による施設運営の仕組みについては、基本設計において具体的な施設計画と併せ検討します。</p>
9	70女	<p>4.本庁舎周辺のまちづくりの方向性</p>	<p>市役所へ行くまでが大変です。歩く者、自転車に乗る人はいつ事故に会ってもおかしくないです。歩道を完備して下さい。幅を広く平らかに、凹凸を無くして下さい</p>	<p>まちなか居住の促進の中で、「老若男女が歩いて楽しいまち空間を創る(p27)」と述べました。その実現に向けた取り組みについては、現在策定中の中心市街地活性化基本計画、都市計画マスタープランへの反映を図りながら取り組みます。(p28-29)</p>
10	20男	<p>4.本庁舎周辺のまちづくりの方向性 ／ 5.本庁舎が備えるべき機能</p>	<p>名実ともに「まちの顔」に。</p> <p>・現「中央分離帯」及び現「大江戸」まで敷地拡大。</p> <p>・駅からのプロムナード設置</p> <p>レンタサイクルポート設置 Ex.金沢「まちのり」</p> <p>「見える化」しておく、使いやすい。</p> <p>バスターミナル機能 Ex.松山 大街道バスターミナル</p>	<p>本庁舎建設の基本理念「まちの活性化とまち空間再生の大きな契機とする」の具現化に向けて、①まちの顔づくり、②賑わいづくり、③歴史的街並みの形成、④まちなか居住、の4つについて取り組みます(p24～27)。</p> <p>また、本庁舎のイメージコンセプト「人をつなぎ歴史をつむぐ賑わい・交流の場」の実現に向けて、本庁舎周辺の</p>

		<p>屋内のバス待合所。案内所・飲食スペース併設。</p> <p>100年先も愛される庁舎に。      県外(国外)から、「越前市って、市庁舎が〇〇などこだよね」      と言われるほど、個性的に。      風土・景観に合わせたデザイン      ex.名護市役所      実用性を兼ね備えた、経年劣化も考慮したデザイン。</p> <p>地下水を利用した奇抜なアイデア      ex.ペンシルバニア州 落水荘      地下水を利用した滝の上に庁舎を建てる。</p> <p>夜も訪れたいスポットに      ex.交野市 天の川七夕祭り      寺町通りの行燈にも近いイメージ。      暖色系の灯りで統一。</p> <p>足の負担軽減      ウッドチップを敷き詰め、クッション性アップ。      松並木と小川も再現。</p> <p>どこでもホワイトボード      Ex.氷見市役所</p> <p>テーブルに直接記入。      活発な会議、丁寧な案内・説明を可能にする。</p> <p>屋根付きステージ&amp;芝生広場      Ex.福岡市役所      これでは殺風景だが…地べたに座れるイベントスペースは欲しい。</p> <p>豊富な緑地空間      Ex.府中駅～大國魂神社参道      日除け・目隠しになる背の高い樹木を道路沿いや庁舎の周辺に。</p> <p>図書館分室      Ex.鯖江 tetote      電車・バス待ち時間の暇つぶし、学習、小規模ミーティング等用途は豊富。</p> <p>産直・道の駅・コンビニ機能      Ex.北海道 美瑛選果      白を基調とした、清潔感のあるデザイン。      伝統工芸品などもディスプレイ。コンビニは24時間。</p> <p>足湯      Ex.鹿児島空港 「おやつとさあ」      まちあるきに疲れたら、市役所でひと休み。</p> <p>団体別ロッカー      Ex.AOSSA 6F      手ぶらで会議スペースへ。鍵は事務所で管理。</p>	<p>東西南北それぞれのポイントで現状・課題を整理し方向性をまとめ、中心市街地活性化基本計画、都市計画マスタープラン、立地適正化計画への反映を図りながら、短期から長期に至る時間軸の中で継続的に取り組みます(p32～35)。</p> <p>本庁舎の市民利用機能や行政機能については、「本庁舎の機能と規模(p38～43)」にまとめました。</p>
11	女	<p>4.本庁舎周辺のまちづくりの方向性</p> <p>蔵の辻など周辺環境との連携を基本としながら、本庁舎には市民協同・イベント拠点機能(屋内施設)をしっかりと創りあげてください。</p>	<p>「賑わいづくり」の「賑わい・交流の核を創る」の中で、「各種イベント対応可能な多目的ホールのような、人の集まる施設を設置することを目指します」と表現しています(p25)。</p>
12	30男	<p>4.本庁舎周辺のまちづくりの方向性</p> <p>武生駅から蔵の辻までの地域全体がにぎわいを創りだせるように、そのにぎわいの核となるような庁舎をつくっていただきたいと思ひます。</p>	<p>「賑わいづくり」の「賑わい・交流の核を創る」の中で、「各種イベント対応可能な多目的ホールのような、人の集まる施設を設置することを目指します」と表現しています(p25)。</p>
13	男	<p>4.本庁舎周辺のまちづく</p> <p>特に「まちの顔づくり」について、意見を述べさせていただきます。      中心市街地の中央に建設される本庁舎の外観</p>	<p>基本的な整備方針の柱の一つであるまちの顔となる庁舎とするために、越前市の歴史性を踏まえ、まちなみデザ</p>

		<p>りの方向性</p> <p>デザインは、単に本庁舎の建物だけを計画するのではなく、越前市中心市街地の町のデザインを創る観点を考慮されるべきと考えます。</p> <p>越前市の中心市街地ではこれまで、伝統的建築物を活かした町なみとして「蔵の辻」が整備されていますが、十分に活かされているとは言い難い状況です。しかし、すでに投資された「蔵の辻」の活用は今後も不可避であり、本庁舎の外観デザインも「蔵の辻」の景観と整合性が図られることが必然で、今後の町なみデザインの指針・模範となることが望まれます。</p> <p>また、本庁舎の位置は府中城址とのことですが、それを伺わせるものは(石碑を除き)何もありません。</p> <p>この場所がかつて前田利家の居城であった歴史資源は、越前市のシティセールスを推進する上で極めて価値があります。</p> <p>今回を機に、この価値をもっと活かすよう取り組み、市民はもとより来訪者も立ち寄れる魅力的な史跡として整備されることを望みます</p>	<p>インの先導となる外観デザインに配慮します。また、武生駅から総社に繋がるシンボルロードと連携した市民のための広場を整備します。(p38-39)</p>	
14	男	<p>4.本庁舎周辺のまちづくりの方向性</p>	<p>I. 本庁舎に関して</p> <p>①庁舎は「権威の象徴となるような厳ついデザインは避けてください。「人つなぎ歴史をつむぐ賑わい交流の場」の契機とするのですから、人が集まりやすく、癒される空間として水と緑が多い憩える場所にしていきたいと思います。駐車場は多少離れていても、良いのではないのでしょうか。庁舎の玄関先に来るまで乗り付けるのはいかがなものかと思えます。車で乗り使えるところとしたり、来客であっても庁舎の裏側が目立たないところがいいですね。</p> <p>②武生駅から歴史町並み形成ゾーンにむけて移動する場合に、手軽に、寄ってみようかなと思える広さと雰囲気があるといいですね。極端な話、1階は市民に開放して2階以上に行政実務エリアを設定する。1階はみんなが集まっておしゃべり、打ち合わせやネットが出来る交流の場、軽い食事の出来る、簡単な買い物ができる場所、小さな図書室、子どもの遊び場、清潔なトイレなどを設けるなど(1階はNPO等に管理を委ねるのも良いかも)</p> <p>③情報発信の拠点とする構想がありますが、庁舎に来ないと情報が得られないという拠点は避けるべきです。観光情報なら越前市の玄関先(駅、主な停留所)や各観光地ごとにおくべきです。情報の量を増やすのではなく、(IT技術の活用によって)市民が望む、必要とする情報に容易にアクセスできる環境を整備していただきたい。現在の紙ベースの情報発信も皆無には出来ないでしょうが。</p>	<p>①本庁舎は、越前市の歴史性を踏まえ、まちなみデザインの先導となる外観デザインに配慮します。(p38,39)。駐車場は、現在の駐車台数125台を目安に確保します(p54)。また広場は、臨時的な駐車場として活用します(p36)。</p> <p>②市民利用機能として、交流・学び・憩いのキーワードから多目的ホール、ギャラリー、まちなか図書館、カルチャー機能、ラウンジ、カフェなどを想定しました。(p42-43)</p> <p>市民協働による施設運営の仕組みについては、基本設計において具体的な施設計画と併せ検討します。</p> <p>③情報発信機能としては、観光匠の技案内所など既存施設の活用と連携を図るとともに、情報発信施設の設置を想定しています。(p38-39)</p>
15	60男	<p>4.本庁舎周辺のまちづくりの方向性</p> <p>／</p> <p>5.本庁舎が備えるべき機能</p>	<p>・利用する場合、入り易い、出易い駐車場、止め(駐車)易い駐車場を一番に考慮してください。現在は、入りにくく、出にくく、止めにくく、スペースがない駐車場が市民が利用しにくいと思います。</p> <p>・市役所の出入口屋根下に各銀行のATMの設置(屋外の離れたところではなく)をお願い致します。</p> <p>・土日祝もしくは夜間に一部の開設を求めます。基本は利用する側に立った場所になることを求めます。</p> <p>・利用する時、受付では多くの人が並んでいるの</p>	<p>・車の動線への配慮として、庁舎敷地の西側の道路拡張の方針を示しました。(p32-35)</p> <p>・ATMの設置の可否については基本設計の中で検討します。</p> <p>・業務に関する事項については、基本設計の中で検討します。</p> <p>・まちなか居住の促進の中で、「老若男女が歩いて楽しいまち空間を創る(p27)」と述べました。その実現に向け</p>

			に、奥では新聞を読んでお茶を飲んでいる人を見ます。民間企業では考えられない光景です。せめて市民の見えないところで、行ってください。 ・昼間に高齢者向け講座を設けてください。 ・市役所へ行くまでの通行、道路等の整備(行き易くしてほしい)	た取組みについては、現在策定中の中心市街地活性化基本計画、都市計画マスタープランへの反映を図りながら取り組みます。(p28-29)
16	20男	5.本庁舎が備えるべき機能	施設に求める機能 「市民が自由に学び活動できるスペース」 ①(市民や観光客の「学び」の中核としての位置づけ) 「公会堂記念館」→「公会堂市民博物館」市内の自然環境や伝統文化・産業についての展示 ②(市民や観光客の「交流」「憩い」の中核としての位置づけ) 空き地を利用した市民農園・広場の整備、空き家・空き店舗を利用したギャラリー・イベント会場の整備	①本庁舎が備えるべき機能として、観光・歴史・文化などの情報発信機能やギャラリー・展示・学習機能を想定しております(p42.43)。 ②まちづくりの方向性と考え方の中で、空き家を利用した民家カフェなど、土地の流動化の促進や、既存ストック利活用として表現しました。(p27)。
17	70男	5.本庁舎が備えるべき機能	①今の市役所、東公民館、市民ホール全てをこわし、市民のための200台位の駐車場を作る。 ②市役所は8階建位にして、外にでている課全て1ヶ所にまとめる。一階、二階は市民の直接の課にする。 ③東公民館は東小学校の余り教室を使用し、学校へ出入せず、入口別にして独立させる。 ④職員の駐車場は公会堂の横の建物をこわし、立体駐車場にする。 ⑤役所の駐車場は平面にして、避難場所や、イベントにも使えるようにする。 ⑥新幹線の駅前には風呂付のレストラン、道の駅の大きなもの、駅の駐車場と合わせて1000台位置くような広場を作り、道の駅には地場産業で出来る品物を季節ごとに替えて置く。観光バスを誘客するようにする。道の駅は8号線通りにして、100m置きに基盤の目に道路つける。(インターから北日野街道まで)道は最初につけてしまうこと。(田んぼの間に道路はつけてしまうこと)	①・⑤駐車場は、現在の駐車台数125台を目安に確保します(p54)。また広場は、臨時的な駐車場として活用します(p36)。 ②具体的な内容については、今後の基本設計・実施設計の中で検討します。 ③東公民館の移転について東地区と協議を行っています。 ④第2・第3庁舎跡地に立体駐車場を建設し、公用車用を使用します。 ⑥南越駅(仮称)前周辺整備については現在、南越駅周辺整備基本計画の策定委員会の中で、検討しています。
18	男	5.本庁舎が備えるべき機能	本庁舎建設にあたって、将来起こり得るかもしれない災害(地震、洪水、豪雪、原発事故)に備えて、 ①庁舎屋上は救援物資(食料や医薬品)を給付できるヘリコプターが着地できるようにする。 ②災害対策本部長(市長がなるとは思うが)は庁舎に泊り込みになるので市長室に宿泊設備(浴室、ベッド等)を用意する。	駐車場は、現在の駐車台数125台を目安に確保します(p54)。また広場は、臨時的な駐車場として活用します(p36)。
19	20女	5.本庁舎が備えるべき機能	ひだまりのようなポカポカした場所で、お年寄りのサロンや子育てのお母さんサロンをつくってください。調理室もお願いします。	市民が利用できる市民交流・ふれあい機能として、ロビーやラウンジ、カフェなどの設置を想定しています(p42.43)。
20	70男	5.本庁舎が備えるべき機能	本庁舎への要望 市文化センター中ホールの代替として、500人程度収容のミニシアターを要望します。多目的ホールの計画があるように聞いていますが、単なる講演会、イベントのみではなく、楽屋、照明設備を備えたホールが是非必要だと思います。 楽屋と言っても、普段は小会議等に使える小部屋が良いのです。芸能発表、演劇上演が出来るホールを備えれば、日曜、休日の市中心部の賑わいに寄与すると考えます。	イベント・市民協働機能として、多目的ホール(ホール・ステージ・控室等)や地域活動支援スペースの設置を想定しております(42.43)。具体的な整備内容については、基本設計の中で検討します。
21	50男	5.本庁舎が備えるべき機能	現在の市役所は本庁舎に、今立総合支所は複合施設に改築するとのことだが、本庁舎も複合施設にすることは選択肢にはないのだろうか。庁舎	本庁舎のあり方検討委員会の報告を受け、本庁舎の基本理念を「まちの活性化とまち空間再生の大きな契機と

			<p>機能に中途半端な交流・学び・憩い等の機能を付加しても、まちなかの活性化やにぎわい創出には繋がるとは思えない。また、周辺にはよく似た施設（福祉健康センターやセンチュリープラザ、公会堂記念館、パレスホテルなど）も存在し、それらとの機能分担をどう考えるのか、また、まちなかに欠けている施設や機能は何か、それらをしっかり見極めるべきである。それらを総合的に考えると、周辺施設を再構築することにより、単なる庁舎機能だけの簡素な施設を目指す方向性と、居住空間も含めた複合施設を目指すという思い切った方向性の選択ではないだろうか。複合施設については、例えば、1階は庁舎の窓口部門のみを置き、他のスペースは、「道の駅」的なゾーンにしたらどうか、また、2階以上を庁舎に、さらに、上階部分を賃貸住宅（U・J・Iターナー者向け）にし、人口増を目指すぐらいの思い切ったカンフル剂的な転換が必要ではないだろうか。それらが困難なら、無駄な金をかけずに、単なる役所機能のみの庁舎を建てる方が賢明ではないか。</p>	<p>する」とし、国府 1300 年の歴史の中で常に政治・経済・文化の中心であった現在地に本庁舎を建設することで、まちなかの活性化と空間再生の基点となるための学び、賑わい、交流を育む庁舎機能が求められました。</p> <p>そこで、整備する 5 つの基本的な整備方針をまとめ、本庁舎等が備えるべき機能と規模を検討しました。</p> <p>また、周辺施設との機能分担として、福祉健康センターに市民利用機能の一部を整備する方針を示しました。</p>
22	60 男	5.本庁舎が備えるべき機能	<p>現在分散している庁舎を一か所にまとめて立て替えることは、庁舎を訪れる市民にとっては使いやすく便利になるだろう。しかし、一般の市民が年にどれくらい市役所に行くだろうか。そのことを考えると、庁舎機能だけでまちの活性化を望むのは限界があり、いかに、同時に解体する市民ホールや障害学習センター等の学習・交流機能をどう拡充し取り組むかが鍵になると思われる。現在の生涯学習センターは、各地区に公民館があることもあり、貸館的な要素が強く、また特定の利用者限定されている傾向が強く、本来の機能が十分発揮しているとは思えない。今回の基本構想にもあるように、学習・展示機能の充実が重要な要素であり、場所的な確保よりも事業展開など中身の充実が求められている。</p> <p>今回の庁舎建設を契機に、学習・展示・交流空間等における事業実施も含め、庁舎機能以外の部分の管理運営は民間や団体にゆだねてはどうだろうか。また、併せて、一部の自治体ではすでに実施されているところもあると聞いているが、市民課等の窓口業務の外部委託も検討してはどうだろうか。そのほうが、今までの役所イメージが変わり、本庁舎が市民により身近な施設となり、市民が集い憩える施設になるのではないだろうか。</p>	<p>本庁舎には、市民が利用できる機能として、多目的ホールや地域活動支援スペース、ロビー、ラウンジなどを備えるべき機能として検討します(p.42.43)。庁舎機能以外の部分の管理運営については、今後の基本設計・実施設計の中で検討します。</p>
23	60 男	5.本庁舎が備えるべき機能	<p>本庁舎の建設にあたって望むこと</p> <p>①原発や地震などの災害時の防災機能充実 例)緊急時の電力確保のため自家用発電設備を整える ・M7.0でも絶えられない耐震設計の建物にする</p> <p>②情報発信機能の充実 例)観光客のために観光地へのアクセス方法を知らせる電光板を常設し、ボタンひとつで必要な情報を入手できるシステム (観光協会を本庁舎に設置) ・郷土の歴史や伝統を知ることのできる書籍や資料の案内(図書館で貸し出し)</p> <p>③百年、二百年と続く耐久性に優れた木のぬくもりの感じるヒトと環境にやさしい建築</p>	<p>①本庁舎には防災セキュリティ機能としての災害対策本部や非常発電室等を想定しました。(p42.43)</p> <p>②情報発信機能には、観光案内や情報提供情報発信施設の設置を想定しています(p.42.43)。</p> <p>③本庁舎の基本的な整備方針の中で、すべての人と地球環境にやさしい庁舎として環境負荷低減に配慮した地球環境にやさしい庁舎を目指すことを決めました(p21)。</p>
24	男	5.本庁舎が備えるべき機能	<p>本庁舎については、高齢化やIT時代等を見据え、人にやさしく使いやすい施設、また、敷居が低くホスピタリティが充実した施設にすることは当然</p>	<p>本庁舎の基本的な整備方針である「まちの顔となる庁舎」、「市民に愛され、多様な市民の参画・協働の場とな</p>

			<p>のことである。しかし、市民は市役所に年に何回行くだろうか。私のような一般市民は住民票をもらう時ぐらいで、年に1回も行かないかもしれない。そのことを考えると、施設や機能も大事であるが、市役所が越前市民にとっての誇りや愛着を思い出させるところ、「こころのシンボル」であってほしいと思う。これから越前市が持続していくためには、そこに住む市民一人ひとりの町を思う気持ちではないかと思う。その意味で、市役所に行ったときに、忘れかけていた越前市民としての誇りを思い出せ、また自信を取り戻せたらと思う。そのための仕掛けをぜひ取り込んでいただきたい。</p>	<p>る庁舎」を目指します。また、イメージコンセプト「人をつなぎ歴史をつむぐ賑わい交流の場」を実現させるための市民利用機能を整備します。(p38-43)</p>
25	30男	5.本庁舎が備えるべき機能	<p>本庁舎では、福祉相談のワンストップ化をぜひ目指して欲しい。あわせて障がい者が就労している喫茶店やコンビニ、アンテナショップもあると良い。そのことでノーマライゼーション社会・共生社会を目に見える形で実現してほしい。</p>	<p>市民向けのサービス機能として、市民の利用頻度の高い窓口はできるだけ低層階に集中させ、高齢者や障がい者をはじめ誰もが訪れやすく使いやすい配置とします(p40)。 本庁舎には市民交流・ふれあい機能や屋外から繋がる憩いの空間として、休憩スペースとして売店を兼ねた、福祉カフェなどの設置を計画しています(p27.p38～p43)。</p>
26	30女	5.本庁舎が備えるべき機能	<p>介護支援者やヤングケアラーのための支援拠点として(北海道の栗山町や富山県の南砺市にある)ケアラズカフェを本庁舎内に設けて欲しいです。なお、このようなカフェは、林病院や中村病院に通院する際、介助者の待合の場＝居場所スペース＝としても有効だと思います。また、このような場にワンストップ型の福祉相談受付・申請受理窓口が併設されていると、とても便利だと思います。</p>	<p>市民向けのサービス機能として、市民の利用頻度の高い窓口はできるだけ低層階に集中させ、高齢者や障がい者をはじめ誰もが訪れやすく使いやすい配置とします(p40)。 本庁舎には市民交流・ふれあい機能や屋外から繋がる憩いの空間として、休憩スペースとして売店を兼ねた、福祉カフェなどの設置を計画しています。また来庁者に対するワンストップサービスが行えるよう総合案内所やフロア案内人の配置を想定しています。(p27.p38～p43)。</p>
27	50	5.本庁舎が備えるべき機能	<p>本庁舎建設を好機に、地域福祉の拠点として、障がい者も高齢者も子ども、すべての申請書類を一括して受理してもらえるような窓口を作ってください。</p>	<p>市民向けのサービス機能として、市民の利用頻度の高い窓口はできるだけ低層階に集中させ、高齢者や障がい者をはじめ誰もが訪れやすく使いやすい配置とします。また来庁者に対するワンストップサービスが行えるような窓口のあり方を目指します。(p27.40)。</p>
28	30男	5.本庁舎が備えるべき機能	<p>市役所の皆さん、いつもご苦労様です。 本庁舎は、皆さんの職場でもあるわけですから、市役所の皆さん自身が、職場として何があったら機能的か、あるいは、どういう配置をすれば、効果的・効率的に行政サービスが提供できるか、という視座から職場の皆さんで話し合いをして欲しいと思います。 特に、これから先何十年もそこで働くことになる若手職員の意見を大事にして欲しいと思います。</p>	<p>今後実施する基本設計・実施設計の中で職員の意見も反映させていきます。</p>
29	男	5.本庁舎が備えるべき機能	<p>文化センターの中ホールが解体されると突然聞いてびっくりしている。中ホールは規模的にも使いやすい施設ということで、中学校や高校の吹奏楽部や子ども劇団など、今も多くの様々な団体が使用している。我々子どもたちの親としては、本来なら改築を望むところだが、一方で財政上厳しいことも理解できる。 よって、まちなかの活性化もめざす意味からも、本庁舎の中に、一般の多目的ホールではなく、ぜひ現在の中ホール機能を補完する、音楽や演劇</p>	<p>本庁舎には、イベント(屋内)機能・市民協働機能として、ホールやステージ、控室を備えた多目的利用が可能なホールの設置を想定しています(p43)。</p>

			<p>が可能なホールを取り込んでいただきたい。いまだて芸術館もあるが、武生地域の住民、特に子どもたちにとっては、遠く利用しにくいのが現状である。ぜひ、将来を担う子どもたちのために、また、歴史文化都市としてさらなる発展のため、ご検討いただきたい。</p>	
30	40 女	5.本庁舎が備えるべき機能	<p>児童虐待問題などは、その背景に高齢者介護によるストレスの問題があったり、保護者の疾病や失業の問題があったりと、非常に複合的かつ錯綜的です。ですので、ぜひ多様な福祉問題を統合的に解決できる部署を創設してください。</p>	<p>行政機能のあり方については、今後十分検討してまいります。</p>
31	70	5.本庁舎が備えるべき機能	<p>子育て支援スペースや学習支援スペースを設けるとともに、本庁舎におけるソフト面の課題として、清掃業務や印刷業務、書類配達業務などは、ぜひ障がい者の活用を検討してください。 いずれにしても福祉については、1箇所のカウンターで解決できるようになって欲しいです。</p>	<p>キッズコーナー(p40)や生涯学習、自主講座の利用できる会議室など、市民の協働活動が可能なスペース(p38.39)の設置を想定しています。また来庁者に対するワンストップサービスが行えるような窓口のあり方を目指します。(p27.40)。</p>
32	男	5.本庁舎が備えるべき機能	<p>武生駅・蔵の辻・本庁舎などがいったいとなって、若者が集う場所になると良いと思います。 そのためには、仁愛大学サテライトキャンパスを本庁舎内に設置するなどの仕掛けを考えて欲しいと思います。</p>	<p>老若男女が生き生きと暮らせるまちを創るために、まちなかには生活関連施設や公共空間の再整備などによりまちなか居住の魅力をアピールし、若者が集まり定住するまちを目指します。本庁舎等には、ロビーを利用したサロンコンサートなど、多様に連携し利用できる機能・空間を設置し、市民の交流促進と利便性向上を図ります(p27)。 また、仁愛大学のサテライトについては、まちなかの活性化に繋げるため、本年7月、まちなかへ活動拠点が設置されました。</p>
33	40 女	5.本庁舎が備えるべき機能	<p>公共交通機関が不便な現在、移動手段は自動車を使っています。 イベント機能・学習機能・ふれあい機能の集客としての駐車場の確保はどうするのでしょうか？</p>	<p>駐車場は、現在の駐車台数125台を目安に確保します(p54)。このほかイベント開催に対応可能な多目的広場や、災害対応に配慮した多目的スペースや駐車場の整備を想定しています(p41)。</p>
34	50 男	5.本庁舎が備えるべき機能	<p>新市庁舎に市役所以外の機能を付加しても、まちなかの活性化は望めないと思います。新市庁舎は行政機能のみの簡素な建物にし、他の機能は平和堂4階や駅南ビルに配置し、機能を分担、ネットワークすることにより、全体で活性化すべきと考えます。その削減された費用で、先ほど廃止するとして文化センター中ホールを再整備すべきです。中ホールは文化センターと隣接しており、サブ会場として、また子どもたちの発表の場や練習会場として、われわれ文化団体には絶対必要な施設です。中ホールがなくなったら、菊人形のOSKはどうするのですか。大ホールが一か月半も使用できなくなり、OSKの大ホール利用には絶対反対です。市役所を職員や町なかの活性化のために大きな費用を投資するのか、子どもたちや市民のために、また文化発展のために、中ホールを立て替えるのか、将来のために選択をしてください。私は、ぜひ、中ホールを現在の場所に立て替えていただきたいと思います。</p>	<p>本庁舎の行政機能としてはコンパクトに整備する計画をとし、市民利用機能については福祉健康センターの一部を機能分担させることを想定しています。また、文化センター中ホールの代替機能として多目的利用ができるホールの整備を想定しています。(p38-43)</p>

35	男	5.本庁舎が備えるべき機能	<p>・展示スペースの確保  私たちは60年にわたり展覧会を現市民ホール(旧中央公民館講堂)で開催してきました。出品者、本市のみならず、県内外の者もあります。鑑賞者は、本市以外からも沢山訪れており、越前市の文化向上に寄与しています。その火が消されることのないよう現生涯学習センター、市民ホールの諸機能を損なうことなく、本庁舎に盛り込んでほしい。</p> <p>・生涯学習施設の確保  本市は生涯学習が活発に行われ、伝統ある文化を維持発展させていると思います。生涯学習センターの諸機能を是非設置してほしい。</p>	<p>本庁舎にはイベント(屋外)機能や市民協働機能としてホール、ステージ、控室を備えた多目的ホールや地域活動支援スペースの設置を計画しています。またギャラリー、展示室、まちなか図書館や、市民が利用可能なスペース(会議室、研修室など)の配置を計画しています(43)。</p>
36	70女	5.本庁舎が備えるべき機能	<p>本庁舎の1階フロアに特徴を。①市民が気軽に見える空間を取ってほしい②菊人形など市重要事業のPR(周年)コーナー設置③ギャラリーの設置(市民文化、伝統産業などのPR)④市・県政治の観光ガイドコーナー</p>	<p>市民の利用頻度の高い窓口はできるだけ低階層に集中させ、高齢者や障がい者をはじめ誰もが訪れやすく使いやすい配置とします(p40)。また観光・歴史・文化情報の発信機能や、ギャラリー、展示室の設置を計画しています(p43)。</p>
37	女	5.本庁舎が備えるべき機能	<p>なるべくコンパクトにお金をかけずに建設してほしい。少子化になっても対応していけるよう借金のない越前市を目指してほしいです。お願いします。</p> <p>本庁舎1階は、夏祭りにも利用出来るようなイベントコーナーを置き、普段は市民交流の場等に利用できればなお良いと思う。</p> <p>老人や乳幼児関係の部署はすべて平和堂4階に固めて頂けたらうれしいです。雨風に当たらず、駐車場もあり、エレベーターもあるので利用しやすくなると思う。平和堂も客が少ないので、3階も借り、生涯学習センターにすると良いと思う。平和堂はなくなってほしくないし、建物も古くなったので、今までの借地代で3・4階が借りられたら最高だと思ふ。</p>	<p>建設費について、概算事業費は6,790百万円を想定し、財源には合併特例債や本庁舎建設基金を使用します。また市民利用部分には、国からの補助金の活用も検討します(p45)。</p> <p>本庁舎には屋内にイベント機能や市民協働機能として多目的ホール(ホール、ステージ、控室など)や市民協働団体が活動できる地域活動支援スペースの設置を計画しています(p43)。</p> <p>また、平和堂4階の利活用については市民利用機能の一部を整備することを想定しています。</p>
38	60男	5.本庁舎が備えるべき機能	<p>市民ホールの代わりになる設備を。芸術の発表の場。市民が参加できるいろいろなイベントの開催が出来る会場。小規模から中・大規模な展示会を開催できるように。</p> <p>名産品市場等日頃から市民が関わって行ける場。和紙や打刃物、ボルガライス、越前そば、駅前ラーメン、タンス等。お茶室も良いですね。</p> <p>生涯学習の充実のための設備・教室も増やしてほしいですね。</p>	<p>本庁舎には屋内にイベント機能や市民協働機能として多目的ホール(ホール、ステージ、控室など)や市民協働団体が活動できる地域活動支援スペースの設置を計画しています。また、ギャラリーや展示スペース、市民の利用が可能な会議室や研修室の設置を計画しています(p43)。</p>
39	70女	5.本庁舎が備えるべき機能	<p>・市役所へ用事がなくても立ち寄りた場所になってほしい。</p> <p>・子どもや高齢者、障害者のためには今のまま、平和堂の4階にあるほうが。雨の日でもまっすぐ入ることが出来るから。</p> <p>・コンサートや、イベントが出来る場所もあるといいと思います。</p> <p>・越前市らしい庁舎にしてほしい。</p> <p>・建設費は、かけないでください。</p>	<p>市民利用機能として、カフェやロビー、ラウンジといった市民の交流、ふれあいや憩いの空間の整備を計画しています(p43)。</p> <p>本庁舎と福祉健康センターと機能分担を行い、連携・補完に配慮した合理的な施設計画を目指します(p43)。</p> <p>イベント(屋内)機能や市民協働機能として、多目的ホールや市民協働団体が活動可能なスペースの設置を計画しています(p43)。</p> <p>建設費について、概算事業費は6,790百万円を想定し、財源には合併特例債や本庁舎建設基金を使用します。また市民利用部分には、国からの補助金の活用も検討します(p45)。</p>

40	60 男	5.本庁舎が備えるべき機能	<p>生涯学習センターも建設し直すなら、是非音楽の演奏も可能な小ホール(100~200名)をつくっていただきたい。</p> <p>高齢者が増えているので、受付にコンシェルジュ的な人がいると安心する。</p> <p>コピー代 10 円に対しても領収書を出していると経費のほうが多いのでは？コンビニ併設でも良いと思う。</p>	<p>イベント(屋内)機能として、ホール(200 席、300 m<sup>2</sup>)、ステージ(100 m<sup>2</sup>)、控室(200 m<sup>2</sup>)を備えた多目的ホールの設置を計画しています(p27,p43)。</p> <p>総合案内所やフロア案内人の設置について想定しています。(P40)</p> <p>コンビニについては、周辺施設も含め立地の可否を検討します。(P38-39)</p>
41	40 女	5.本庁舎が備えるべき機能	<p>平和堂の 4 階は利用してほしいです。雨や雪のとき、車からそのまま入れます。バスで来たときもバス停からすぐです。子ども連れやお年寄り、障がいのある人にとって一番考えてほしいところです。</p> <p>福祉関係の部を 4 階にしてください。</p> <p>証明書の発行は、今の時代どこにいても取れます。マイナンバーが始まれば、コンビにでも取れるようになると新聞で読みました。</p> <p>また大きい庁舎は要りません。せめて 4 階までにしてください。</p> <p>借金を増やさないで・・・。</p>	<p>本庁舎と福祉健康センターと機能分担を行い、連携・補完に配慮した合理的な施設計画を目指します(p43)。</p> <p>市民の利用頻度の高い窓口はできるだけ低階層に集中させ、高齢者や障がい者をはじめ誰もが訪れやすく使いやすい配置となるよう計画します(p40)。</p>
42	40 女	5.本庁舎が備えるべき機能	<p>・本庁・総合支所ともに段差をなし、高齢・障がい者が移動しやすいやさしさ、環境にもやさしい庁舎を作してほしい。</p> <p>・職業資格を総合支所で取れるようにしてほしい(特に女性向け)</p> <p>・北陸新幹線を活用し、観光客人口を増やすように利用を図ってほしい。</p> <p>(例)福祉バスなど利用が出来るようにして、沢山の人に、観光に来て、見て、食べて、再度来てもらえる越前市に。また、越前市のどこへ行きたいと思ってもらえる街づくり。越前市に寄りた、とまりたい。</p> <p>・ボルガライス・中華そばの青年課・OB(おばちゃん)課などをつくり、宣伝隊を結成しては。</p>	<p>市民の利用頻度の高い窓口はできるだけ低階層に集中させ、高齢者や障がい者をはじめ、誰もが訪れやすく、使いやすい配置とします。(P40)</p> <p>北陸新幹線を活用した観光施策については、県と共に取り組んでまいります。</p>
43	60 男	5.本庁舎が備えるべき機能	<p>わたしは障がい者です。</p> <p>・本庁舎はバリアフリーを追求してください。</p> <p>・障がい者トイレはユニバーサルデザインで。</p> <p>・点字ブロック</p> <p>・エレベーターも欲しい。</p> <p>・段差は弱視者に配慮したものを。</p> <p>・トイレには音声ガイドを。</p>	<p>本庁舎内には安全で歩きやすい通路・廊下幅の確保、使いやすい窓口フロアの実現、わかりやすいサインの設置、安心して使えるトイレや駐車場の設置など、ユニバーサルデザインに努めます(p40.41)。具体的な整備内容については、基本設計・実施設計の中で検討します。</p>
44	80 男	5.本庁舎が備えるべき機能	<p>本庁舎について、1階ロビーにスペースを設けて県庁の1階みたくにして、各種行事を行い市民に来てもらう。(幼児の歌、ひなまつり、俳句などを行う)</p> <p>10年前に「武生の緑の計画」があり、東地区は緑が少ない、そのため屋上を緑の計画をする。(例:芝にする、又は木を植えるなど)そして市民の憩いの場にする。</p>	<p>庁舎の待合ロビーと共用可能なラウンジ、カフェなどを設置することで、市民交流や憩いの空間整備を図ります(p42.43)。</p> <p>屋外には、緑と憩いの交流広場として緑あふれる広場や庭園などを想定しました(p38.39)</p>
45	60 男	5.本庁舎が備えるべき機能	<p>現在分散している庁舎を一か所にまとめて立て替えることは、庁舎を訪れる市民にとっては使いやすく便利になるだろう。しかし、一般の市民が一年間にどれくらい市役所に行くだろうか。そのことを考えると、庁舎機能だけでまちの活性化を望むのは限界があり、いかに、同時に解体する市民ホールや生涯学習センター等の学習・交流機能をどう拡充し取り組むかが鍵になると思われる。現在の生涯学習センターは、各地区に公民館があることもあり、貸館的な要素が強く、また特定の利用者に限定されている傾向が強く、本来の機能が十</p>	<p>本庁舎には、市民が利用できる機能として、多目的ホールや地域活動支援スペース、ロビー、ラウンジなどを備えるべき機能として検討します(p42.43)。</p> <p>庁舎機能以外の部分の管理運営については、今後の基本設計・実施設計の中で検討します。</p>

			<p>分發揮しているとは思えない。今回の基本構想にもあるように、学習・展示機能の充実が重要な要素であり、場所的な確保よりも事業展開など中身の充実が求められている。</p> <p>今回の庁舎建設を契機に、学習・展示・交流空間等における事業実施も含め、庁舎機能以外の部分の管理運営は民間や団体に委ねてはどうだろうか。また、併せて、一部の自治体ですでに実施されているところもあると聞いているが、市民課等の窓口業務の外部委託も検討してはどうだろうか。そのほうが、今までの役所イメージが変わり、本庁舎が市民により身近な施設となり、市民が集い憩える施設になるのではないだろうか。</p>	
46		その他	<p>住民が手続き等のため来庁するときや、交流や学び、憩いを求めるためには交通アクセスの便がよくなければならない。コミュニティバスの充実を考慮してほしい。</p> <p>文化センター中ホールの取り壊しについては、文化ゾーンとして文化センターに隣接した中ホールの新設が望まれる。菊人形 OSK 舞台利用や市民が使いやすく、収容数や解放された理予報を考慮した中ホールは、ぜひ必要である。OSK 舞台の大ホール利用は約 2 か月間の市民ステージ発表や利用、また、文化行事の開催に大きな支障とないかねない。</p>	<p>コミュニティバスは平成 18 年から本格運行が開始され、現在では、市街地では北及び南ルートがあり毎日 8 便ずつ運行しています。郊外ルート(吉野・大虫ルートや、坂口・神山ルート、王子保・南ルートなど)は 6 ルートあり週 2 日の 4 便ずつ運行しています。公共交通の利便性を高めるとともに、庁舎への交通アクセスがより良いものとなるよう、今後も引き続き検討します。</p> <p>本庁舎には中ホールの代替機能として多目的利用ができる、ホールの設置を想定しています。(p38-43)</p>
47	男	その他	<p>子どもたちに新市庁舎の建設に携わってもらうことを提案します。</p> <p>どこの自治体もやっていないのではないのでしょうか。全国初の取り組みとなるならば、まず私たち越前市民により取り組まれることを強く希望します。</p> <p>市庁舎建設の現場となる中心市街地に住んでいる小学生、武生東小学校や武生西小学校の児童、さらには希望する小学生、中学生に、実際に建設に携わってもらうのです。</p> <p>子どもたちが建てることは実際には不可能です。では具体的に、どのような方法かといいますと、新市庁舎の「どこかの部屋」の「壁」を、子どもたちが、このために手漉きした和紙を使って、壁紙の材料として貼って「壁」を完成させるとか。統一規格の指物の一部を作ってもらい、それを集合体として何かを完成させるとか。</p> <p>こんな風に、「材料」を子どもたちが手作りし、それを建設(建築)に活かすという方法です。「材料費」を実費負担してでも、私は取り組みたいと思われたい人は居る、ニーズはあると思っています。手すきした和紙を、実際に子どもの手で貼ってもらう、など、「材料の作成」だけでなく、簡単な「作業」にも参加できると、なお良いと思います。もちろん、仕上げはプロが行います。</p> <p>完成した暁には、参加した子どもたちとその保護者を対象に内覧会を行い、実際に目で見てもらい、親子で完成を喜んでいただきます。内覧会後には、参加した子どもたち、保護者たちに対し、市長から直接感謝の気持ちなどを述べていただきます。こどもたちの心の中に「強烈な」記憶、思い出として持ち続けてほしいから、そうしたいのです。「私が作った和紙があ、市長室の壁に貼られているんやあ!」「僕が作った指物があ、市民ホールの天井に使われているんやあ!」って、子どもたちに</p>	<p>今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>

			<p>自慢してもらいたいです。</p> <p>子どもたちが本庁舎建設の一部に携わることで、「ふるさとを想う心を育む」ことも、少しできるような気がします。</p> <p>子どもたちが成長し、高校や大学で、よその地域の出身者たちと触れ合うとき、多くの友達や大切な恋人と語り合うとき、ふるさと越前市での思い出の一つとして披露できたり。</p> <p>社会人となって、ふるさと越前市に帰ってくる、帰ってきたときに、自分たちが建設に携わった市庁舎が、越前市の玄関口にある、ふるさとのシンボルとして存在していることは、その人の帰りをどこか暖かく迎えてくれているような、そんな気持ちになるのではないかと思います。</p> <p>越前市に住む皆さんは、皆それぞれに、子どものときにふるさとで体験した思い出を、いっぱい持っていらっしやると思います。今の子どもたちが、本庁舎建設に何らかの形で携われたならば、死ぬまで語ることができる「一生の思い出」となるのではないのでしょうか。今の子どもたちが、本庁舎建設に何らかの形で携わることができれば、ふるさとを思いやる心「越前市愛」を持つ「きっかけ」となるのではないのでしょうか。</p> <p>そして、その「一生の思い出」を共有できる仲間ができることは、ひとりひとりの人生の様々な場面で「支え」や「よりどころ」になるのではないのでしょうか。</p> <p>そんなことを想い、パブリック・コメントとさせていただきます。</p>	
48	男	その他	<p>庁舎の立地と交通網との関係について、新幹線南越駅は今回建設予定の本庁舎および今立総合支所建設予定地から距離が在る。この距離を無くすためには、タケフ・今立合併時から構想されていたように国道8号線沿いに庁舎を建設する方法はある。</p> <p>新幹線・JR 在来線・福井鉄道・高速道路と越前市の諸機能をどう結びつけるのか、市民に対する十分な説明を求める。</p>	<p>本庁舎の建設場所については、平成 26 年 3 月議会における新市建設計画の変更案の議決を受けて、現在地での建設が決定されました。</p> <p>北陸新幹線をはじめとする交通ネットワークについては、今後改定を予定する都市計画マスタープランの中で検討していきます。</p>
49		その他	<p>夏頃募集していた小学生の新幹線の絵はその後どうなったのですかどこにも何もかかれていないので。</p>	<p>平成 26 年 8 月 31 日に開催した新幹線フォーラムの開催記念として新幹線に関する小学生の図画コンクールを実施しましたが、市長賞(1 名)、教育長賞(1 名)、特別賞(2 名)をフォーラム開催に併せて発表し、会場となった福祉健康センターに掲示させていただきました。</p> <p>北陸新幹線南越駅周辺整備基本計画の中で掲載してまいります。</p>
50	60 男	その他	<p>本庁舎と今立支所 2 ヶ所建設する必要はない。どこかに 1 ヶ所とすべきだ。</p> <p>人件費も事務機械設備も二重になり無駄なことだ。行政改革、構造改革に反していると思う。</p> <p>なぜこんなことがわからないのか。奈良市長は何を考えているのか。</p>	<p>本庁舎については、旧武生と今立、二つの生活拠点に集積されたインフラと機能を維持活用しながらその継承と創造的再生を図るため、都市拠点機能を支える本庁舎を現在地に建設するとともに、まちづくりの前提となる安全・安心な「まち」を目指すため、2 度の豪雨災害に見舞われた市東部地区の拠点となる今立総合支所を改築して存続し、防災・コミュニティ等の機能を有する複合施設として拡充整備を図ることとしました。</p>
51		その他	<p>Ⅲ. 共通事項として</p> <p>①ネット・IT を最大限活用した市民サービスの導</p>	<p>①基本的な整備方針の一つである「効率的・機能的な庁舎」として、窓口部</p>

			<p>入を今年から、マイナンバー制度が導入されることもあり、インターネット・ITを活用した市民サービスが当たり前にもなるでしょう。(その分、セキュリティ対策の強化が必要です) 市民を、窓口と並ばせないでください。自宅で、もしくは各地区で住民票・印鑑証明や戸籍などが受け取れるようにしましょう。 また、さまざまな提出書類(届出書)などもネットや各地区で提出できるようにしましょう。どうしても本人が窓口で提出・受け取らねばならない場合でも、最悪、ドライブ・スルーで受領できるようにすることは可能だと思います。(窓口と駐車場のスペースを押さえることが出来ます。)</p> <p>②行政と市民の交流・意見交換の場を増やしましょう。といっても行政が市民に情報伝達することではなく、行政が市民の意見を求める場(機会)を増やすことをしています。その努力をして欲しいと思います。 特に若者を含むあまり行政には興味を持っていない所謂「ゆるい市民」からの声を集める地道な努力が必要です。でなければ、若者はますます越前市から離れてしまいます。 庁舎建設に関わる市民説明会に参加した市民は何人いるでしょうか?どの会場も50名を越えていませんでしたし、半数は市役所、議会の関係者でしたね。しかも、越前市の世帯数は28,000を超えているかと思しますので、参加した方は1%にも満たないわけで、多くの市民の心が離れている証拠だと思います。</p> <p>パブリック・コメントで多くの若い世代の市民から意見が提出されていることを願っています。 勝手な意見ばかりで申し訳ありませんが、ご高配いただければ幸いです。</p>	<p>門の事務効率化によって市民サービスにスピーディかつ確に対応する機能的な庁舎を目指します。具体的な機能としては、ICT機能の充実を想定しています。(p40-41)</p> <p>②今後、基本設計にあたり市民ワークショップを予定しています。市民の意見を求める機会については、今後ともさまざまな手法について検討していきます。</p>
52	60男	その他	<p>少子高齢化が加速化している本市、少なくとも10年後の越前市の人々の生活がスムーズに、かつ負担が出来るだけ少なくなるように、公平に整備されることを望みます。 まず、本庁舎は車の便を第一に、駐車スペースを充分とってもらいたい。 平成の大合併の主旨を踏まえ、建物・職員の人口減を考慮し、交通手段の変遷発達を考えたら、今立総合支所とか白山や味真野の支所などはいつの時代の発想でしょうか?病気や高齢で、自分で動けない人は連絡すれば自室や地区の公民館で処理できるように簡略化すべき。地理的なことに因りすぎではないでしょうか。 将来の若者の負担にならないよう大きな視野から建設してください。</p>	<p>本庁舎の駐車スペースについては、今後のマイナンバー制度の導入やIT化の進展、人口減少社会を見据え、窓口部門への来庁は減少すると見込まれることから、現在の駐車台数125台を確保する計画とします。(p54.55)。 今立総合支所については、2度の豪雨災害に見舞われた市東部地区の拠点として改築し、防災・コミュニティ等の機能を有する複合施設として拡充整備を図ることとしました。</p>
53	60女	その他	<p>平和堂4Fにある福祉健康センターやピノキオなどは、本庁舎の中に入りますか?消費者センターも入りますか? 本庁に統合して集めないという意味がないですね。</p>	<p>福祉健康センターに入っている、行政機能である健康増進課、市民自治推進課、子ども子育て総合相談室は本庁舎に統合する計画をしています。</p>